

# おとずれ山の会 だより

第18号

森づくりを楽しみながら、自然との共生を考える

## 作業を楽しむ一活動の原点を追求

おとずれ山の会 R2 年度総会 4月8日

おとずれ山の会 R2 年度の総会が行われました。コロナの脅威は依然として残るなか、台風被害の修復に明け暮れたような一年でありました。天羽田地区の林野庁交付金事業が一区切りしたこともあり、原点に戻って、「作業を楽しむ」をあらためて追求しようということになりました。

なお、今年度から、あらたに小長根さん（市原市）が永峰さんの紹介で入会しました。

また、R3 年度は、天羽田の活動日程に第3土曜日（6回）を加え、参加者の拡大・ファミリーの活用を図ることとなりました。別途日程表により呼びかけを行います。会員の皆さんも身近な人に声かけをお願いします。



## ジャックの森ようこそ

3月15日、袖ヶ浦神納のシニア有志数名がジャックの森でティーパーティ。気分転換になったと喜ばれました。25日には、「いちほら里山クラブ」の芦川代表と小川事務局長が訪れ、竹林の手入れや椎茸の収穫などの作業し（写真）について懇談しました。また、27日には、馬來田で有機農業に取り組む青年（稲田さん）が来訪し、情報交換をしました。（写真㉗）



㉖、㉗、㉘の活動や運営等



台風の影響は残りますが、ジャックの森はかなり整理されてきました（写真㉙）。さらに整備を進めます。

## ありがとうそしてさようなら 森本さん逝去

かねて療養中だった会員の森本義夫さんが2月26日に逝去されました。森本さんは平成25年の入会で、以来確実な仕事ぶりで大変に頼りになる存在でした。優しい気遣いと黙々と作業する姿が思い出されます。ご冥福をお祈りいたします。

写真：3月25日、ジャックの森の活動日にお姉さまとお嬢さまが遺影を携えて訪ねてくださいました。（写真右端に遺影）



## <編集後記>

◇ふと気がつくと、萌え出ずる若葉がハッとするほど美しい季節です。“コロナ籠り”から抜け出して、作業を楽しむとともに感動と癒しの時間が持てることを有り難く思います。◇ジャックの森は市有森です。台風被害から復旧しつつあるこの森を大いに活用し、コロナストレスを吹き飛ばしたいものです。(編集局)

編集・発行：おとずれ山の会 代表：高橋順子

連絡先：高橋和靖(事務局 携帯 090-4735-6504)

〒299-0257 千葉県袖ヶ浦市神納2-23-22

Email: [kjtaka@kba.biglobe.ne.jp](mailto:kjtaka@kba.biglobe.ne.jp)

Blog: 「おとずれ山の会」で検索し「ブログ」をクリックして下さい

